

日本赤十字社沖縄県支部

新型コロナウイルス感染症に対する活動報告
令和2年2月～令和3年12月

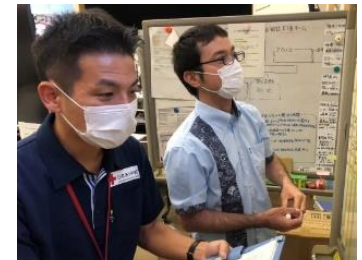


日本赤十字社

➤ 日本赤十字社沖縄県支部の動き(1)

令和2年

- 2月14日 「新型コロナウイルス感染症対策会議設置要項」施行
- 2月18日 職員向けに感染予防物品、感染予防策についての事務連絡を発出
- 2月25日 講習会、青少年赤十字活動等の延期及び中止(2月25日～)
- 2月28日 「新型コロナウイルス感染症に対する対応マニュアル」作成
- 4月 7日 県庁に沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部立ち上げ予定、当支部からも職員派遣可能か打診あり
- 4月 8日 県庁へ職員派遣(4月8日～6月4日)
※沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部立ち上げ支援、立ち上げ後は感染者の入院調整業務等に従事
- 4月17日 那覇市立病院へ仮設トイレ貸出
- 4月21日 出勤者削減の実施(4月21日～5月14日)
- 5月15日 「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」作成
- 6月 5日 県内の赤十字高校生ボランティアからの応援メッセージ(写真)を沖縄赤十字病院へ贈呈
- 7月 9日 令和2年7月豪雨災害、熊本県へ支援要員として職員1名を派遣(7月9日～7月12日)
救護班第1班(7/10～7/15)
救護班第2班(7/19～7/24)
※感染対策を徹底しながら、被災地への支援に従事
- 7月28日 沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ職員派遣(7月28日～9月12日)
※県内で感染再拡大のため
- 7月31日 沖縄赤十字病院へ会議室貸出(7月31日～)
※新型コロナウイルス院内対策本部として使用
- 8月 5日 「職員が新型コロナウイルス感染または、濃厚接触者となった場合等の対応について」作成
- 9月22日 県内の赤十字高校生ボランティアが、医療従事者向けの感染防止用使い捨てエプロンを作成
- 10月 6日 沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ職員派遣(10月6日～11月5日)
※県庁職員の体調不良者発生のため、県コロナ本部の運営を支援
- 10月31日 石垣市へ職員派遣(10月31日～11月5日)
※石垣市にて陽性者多数発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣



DWATとして本部活動に従事



➤ 日本赤十字社沖縄県支部の動き(2)

令和3年

- 1月20日 沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ職員派遣(1月20日～1月27日)
※県内で感染再拡大のため
- 1月20日 宮古島市へ職員派遣(1月20日～1月30日)
※宮古島市にてクラスター発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣
- 2月 5日 クラスター発生施設へ職員派遣(2月5日～2月26日)
※うるま市の施設にてクラスター発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣
- 2月26日 DWAT(災害派遣福祉チーム)要員として、日赤安謝福祉施設職員を沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ派遣(2月26日～3月1日)
- 3月25日 沖縄県より大城保健医療部長が、沖縄県支部へ来所。
※沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部の活動に携わっている赤十字職員に対して、謝意のお言葉を頂きました。
- 4月 1日 沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ職員派遣(4月1日～6月25日)
※県内で感染再拡大のため
- 5月10日 クラスター発生施設へ職員派遣(5月10日～6月13日)
※金武町の施設にてクラスター発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣
- 7月21日 クラスター発生施設へ職員派遣(7月21日～7月31日)
※うるま市の施設にてクラスター発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣
- 7月28日 沖縄県コロナウイルス感染症対策本部へ職員派遣(7月28日～9月26日)
※県内で感染再拡大のため
- 12月26日 クラスター発生施設へ職員派遣(12月26日～12月31日)
※本部町の施設にてクラスター発生、県コロナ対策本部の要請により当支部職員を現地へ派遣



クラスター発生施設で本部業務に従事



県コロナ本部の業務に従事する赤十字職員



➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(1)

日本赤十字社沖縄県支部では、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部からの要請に基づき、他機関に先駆けて支援要員を同本部に派遣しました。対策本部では沖縄県庁職員、各医療機関、厚労省、自衛隊、海上保安庁、DMATなどと共に業務にあたり、感染者の入院調整業務、健康観察業務や組織体制の構築に努めています。

《主な業務内容》

新規陽性者リスト・クロノロ・議事録等作成

- ・患者情報、時系列、会議内容等の情報をまとめ、記録に残す

入院・転院調整

- ・入院、転院対象者の把握、情報収集
- ・コーディネーターDr.と相談し、優先度の決定
- ・各医療機関の空床状況の確認
- ・入院先、移動手段の調整
医療機関、保健所、消防等と連絡を取り合い、調整を行う

ホテル療養調整

- ・ホテル療養対象者の把握、情報収集
- ・入所日、移動手段の調整
- ・医療機関、保健所への報告

コールセンター業務

- ・自宅療養者の健康チェック
電話にて聞き取りを行う
健康状態次第では、入院、ホテル療養へつなげる

その他情報収集、情報の発信

- ・各医療機関、保健所、DMAT等から必要な情報の収集、発信を行う



➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(2)

日本赤十字社沖縄県支部では、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部からの要請を受け、クラスター発生施設や離島へも職員を派遣し、感染拡大防止活動に努めています。



沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部



支援要請



日本赤十字社 沖縄県支部



職員派遣

クラスター発生施設

《派遣期間》

うるま市①令和3年2月5日～2月26日

金武町 令和3年5月10日～6月13日

うるま市②令和3年7月21日～7月31日

本部町 令和3年12月26日～12月31日

クラスターが発生した医療施設等へ、職員の派遣を実施。当該施設のコロナ対策本部に入り、組織作り、陽性患者への対応、県や保健所との調整業務などの支援を実施しました。

また、沖縄赤十字病院からは、医師や看護師が派遣され、感染対策に関する指導等の支援を実施しました。

宮古島市

《派遣期間》

令和3年1月20日～1月30日

感染拡大が続き、医療体制がひっ迫していた宮古島市へ職員の派遣を実施。

宮古保健所、クラスター発生施設等にて、感染対策の組織作りや沖縄県、保健所等との調整業務などの支援を実施しました。

石垣市

《派遣期間》

令和2年10月31日～11月5日

感染拡大が続き、医療体制がひっ迫していた石垣市へ職員の派遣を実施。

八重山病院(八重山新型コロナウイルス感染症対策本部)にて対応にあたり、感染対策の組織作りや沖縄県、保健所等との調整業務などの支援を実施しました。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(3)

職員派遣人数(令和2年4月～令和3年12月)

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
派遣人数 (延べ)	36名	19名	1名	11名	93名	12名	14名	5名	0名	19名	29名	0名

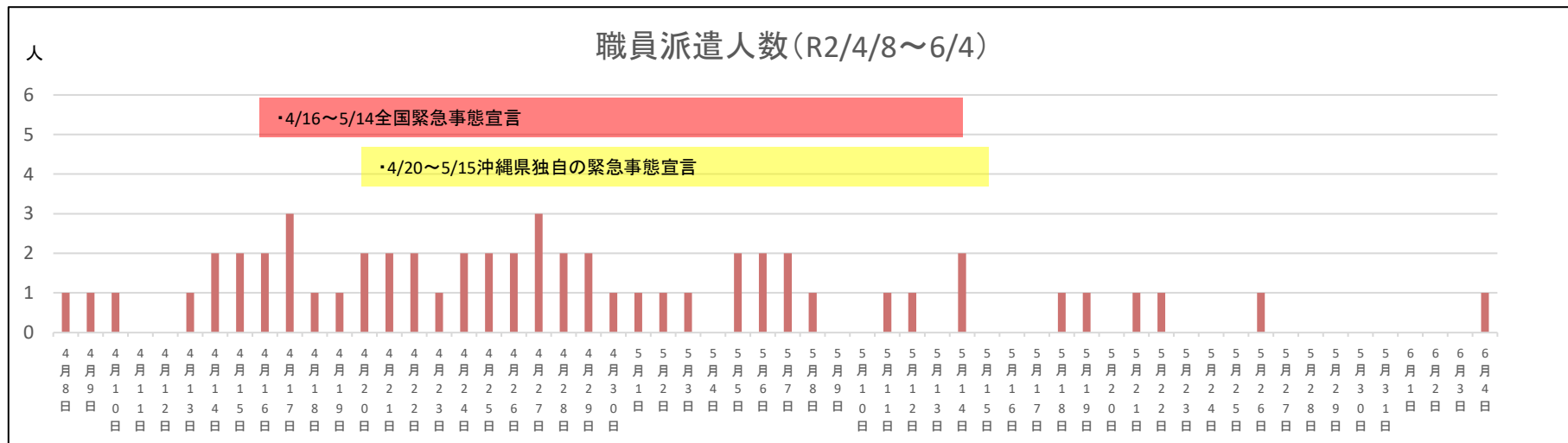
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
派遣人数 (延べ)	47名	55名	21名	16名	44名	27名	0名	0名	5名

総 計

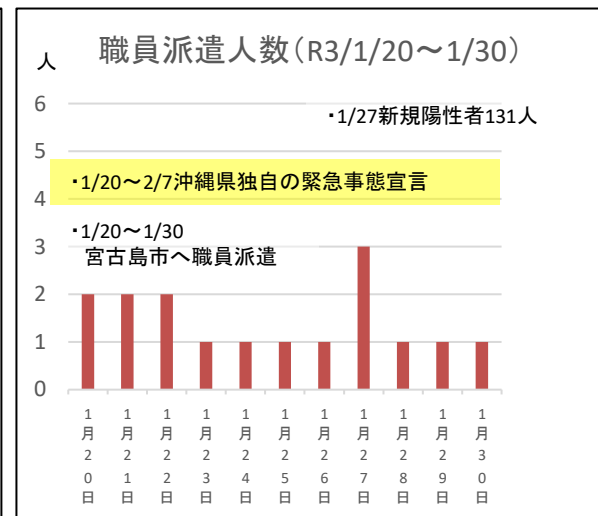
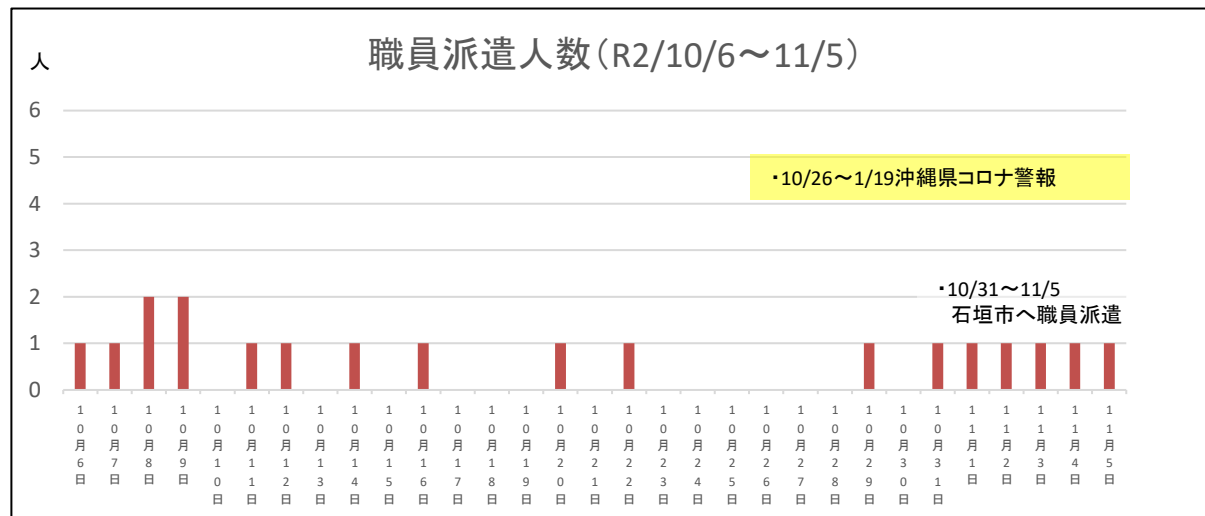
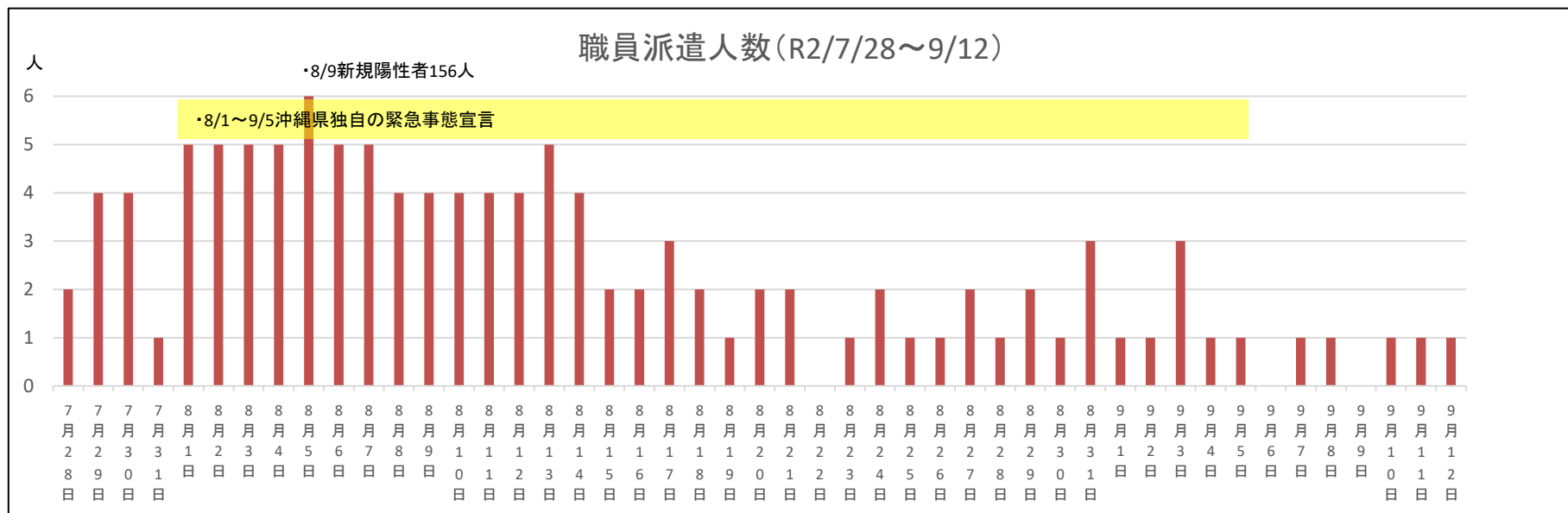
派遣日数(延べ) 273日

派遣人員(延べ) 454名

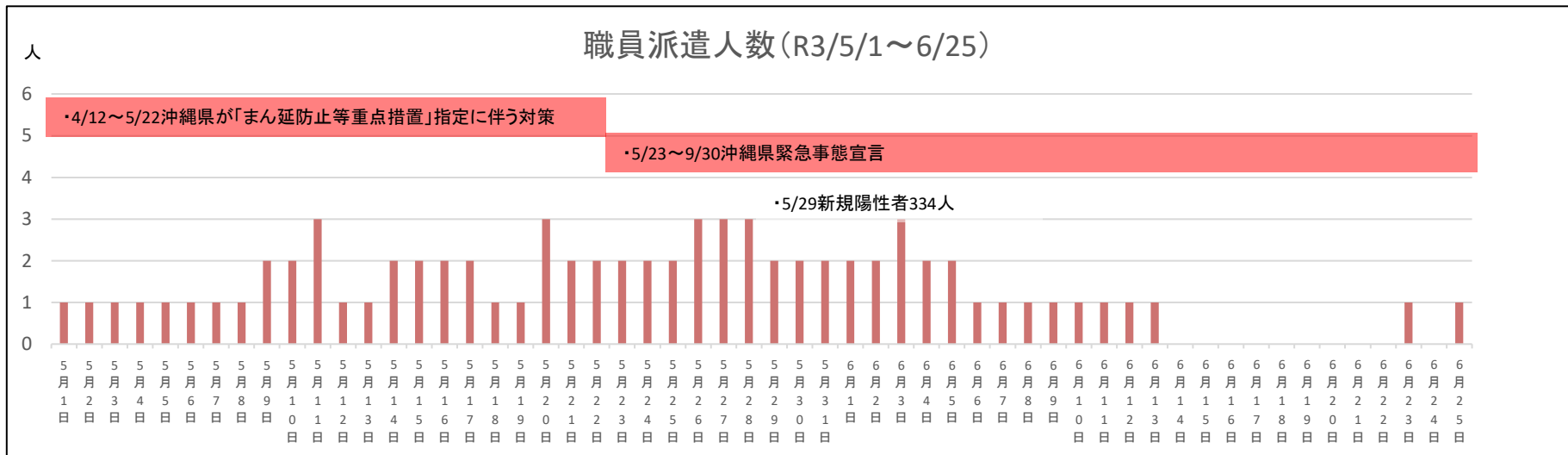
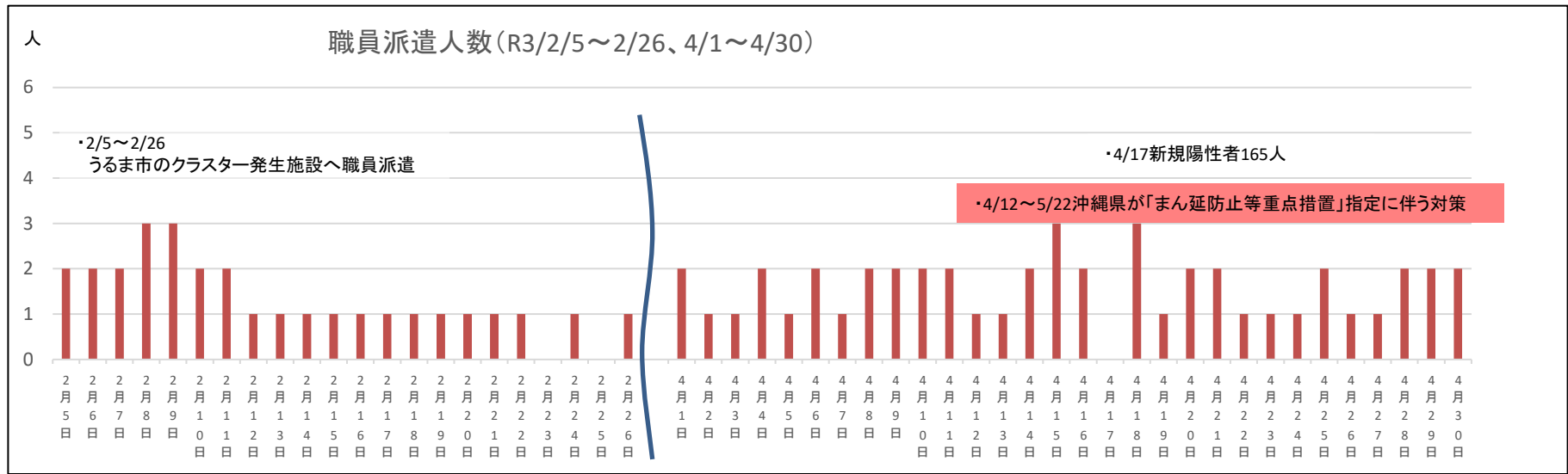
※沖縄県赤十字血液センター職員2名、
日赤安謝福祉複合施設職員1名含む



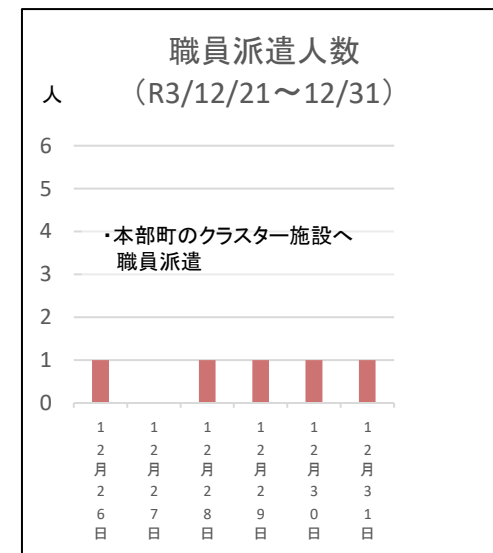
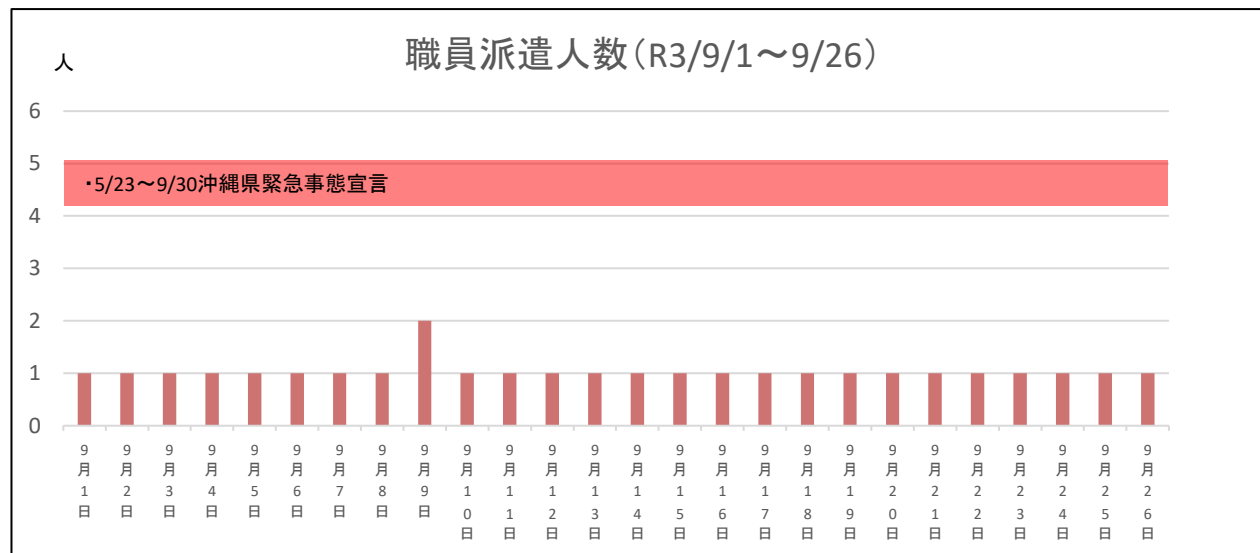
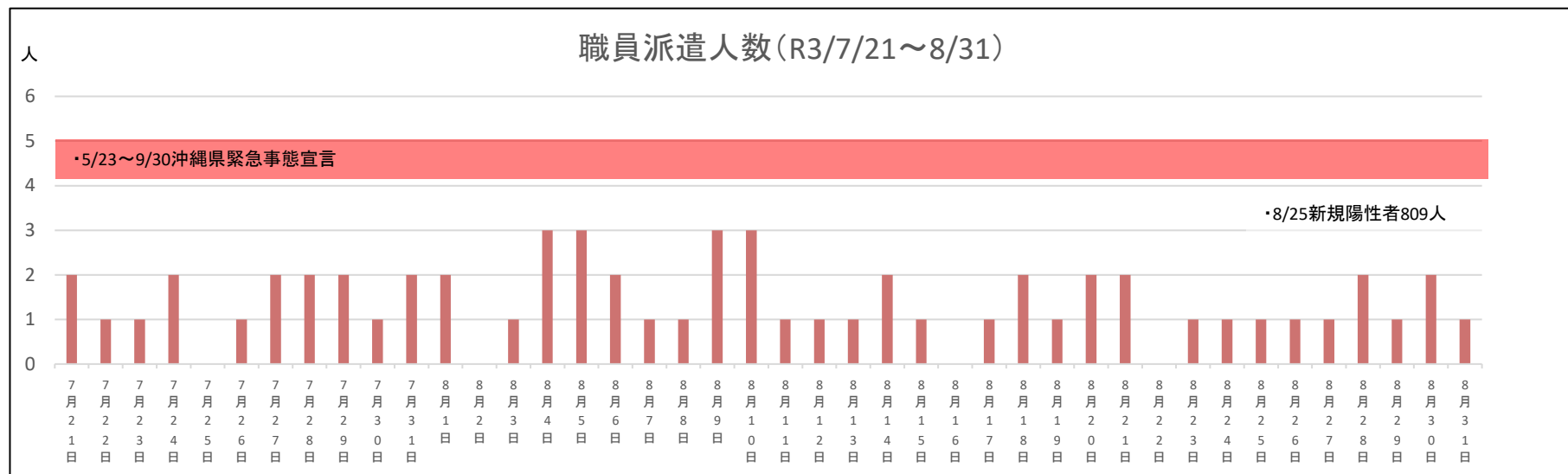
➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(4)



➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(5)



➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(6)



➤ 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣(7)

沖縄赤十字病院から医師・看護師等を派遣(クラスター施設への支援含む)

・沖縄赤十字病院では、医療コーディネーターとして、医師の佐々木救急部長、豊見山第二外科部長を沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部へ派遣しています。医療コーディネーターは、重症患者の受け入れ先調整や優先度の判断を行うほか、沖縄県の新型コロナウイルス感染症対策を円滑に進めるために、国や県、医療機関等と協議を行っています。

また、医師、看護師、コメディカル、事務職員を沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部やクラスター施設の支援要員として派遣するなどの活動も行っています。

派遣人数(延べ)

令和3年12月31日時点

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師	22名	20名	15名	24名	41名	18名	13名	19名	9名	19名	16名	12名	228名
看護師	0名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	8名	6名	1名	17名
コメディカル・事務職	6名	6名	0名	9名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	0名	24名
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計			
医師	19名	23名	16名	20名	28名	22名	10名	11名	12名	161名			
看護師	0名	6名	1名	9名	1名	0名	0名	0名	0名	17名			
コメディカル・事務職	0名	7名	13名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	23名			

大城保健医療部長来所

- ・令和3年3月25日に沖縄県より大城保健医療部長が、沖縄県支部に来所されました。沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部の活動に携わっている沖縄県支部、沖縄赤十字病院の職員に対して、謝意のお言葉をいただきました。

赤十字からは、島田事務局長、赤嶺副院長、佐々木救急部長が出席し、今後の新型コロナウイルス感染症対策についても沖縄県と協力して取り組んでいきたいとの意を表しました。



➤ その他コロナ関連業務(1)

物資の貸し出し

- ・物資(テント、災害用トイレ、簡易ベッド、無線機等)を医療機関や沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部等へ貸出しを行い、治療、感染拡大防止などに役立ててもらっています。

貸出物品名	貸出施設
テント	沖縄赤十字病院
災害用トイレ	沖縄赤十字病院 那覇市立病院 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 (クラスター施設)
簡易ベッド	沖縄赤十字病院
無線機	沖縄赤十字病院
車両	沖縄赤十字病院
ノートパソコン プリンタ WiFiルーター	沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部
事務消耗品各種	沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部



➤ その他コロナ関連業務(2)

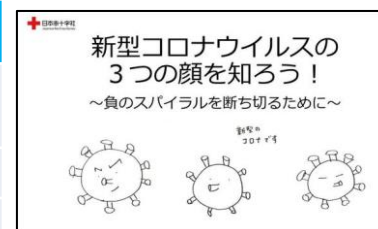
情報の発信

- 新型コロナウイルス感染症は、新しい病気で不明な要素が多く、同感染症の拡大とともに不安と偏見が世界に広がっています。このような中、赤十字社では地域全体の同感染症への正しい理解を促進し、さらには不安な気持ちや差別、偏見などの広がりを防止するための情報発信に努めています。沖縄県支部でも広報資材を各市町村、学校(小、中、高校)に送付、資材を活用した講習などを実施しています。

また、救急法等の講習を実施してきた経験を活かし、心配蘇生時の感染予防対策についての情報も発信しています。

新型コロナウイルス感染症関連講習の実施

日 程	主 催	人数	主な研修内容
令和2年7月29日	国頭教育事務所	60名	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により教材配布のみ
令和2年8月12日	那覇教育事務所	25名	青少年赤十字講話、防災教育プログラム
令和2年10月22日	那覇市立教育研究所	46名	青少年赤十字講話、防災教育プログラム
令和2年12月4日	豊見城市社会福祉協議会	25名	防災教育プログラム、 新型コロナウイルス感染症3つの顔
令和3年2月15日	沖縄県立中部農林高校福祉科	38名	防災教育プログラム
令和3年3月10日	うるま市役所保育幼稚園課	22名	防災セミナー、防災教育プログラム紹介
令和3年8月16日 ～9月30日	那覇教育事務所	24名	青少年赤十字講話、防災教育プログラム ※動画を作成し、オンデマンド研修にて実施
令和3年10月21日 ～10月28日	那覇市立教育研究所	46名	青少年赤十字講話、防災教育プログラム ※動画を作成し、オンデマンド研修にて実施



心肺蘇生時の感染症予防対策

感染症予防対策を講じたうえでの心肺蘇生方法について、職員が実演した講習動画を作成し、ホームページやTwitterを利用して、情報発信に努めるとともに、救急法講習(オンライン)内にも同内容を取り入れたプログラムを実施しています。

➤その他コロナ関連業務(3)

青少年赤十字関連

《医療従事者へのメッセージ》

・県内の赤十字高校生ボランティアの皆さんが、医療従事者への応援メッセージを掲げた写真を各自で撮影し、沖縄赤十字病院へ贈呈しました。写真は、病院ラウンジ等に掲示され、病院職員の支えとなっています。

また、青少年赤十字加盟校からも校内で集めた応援メッセージを贈呈いただきました。



《ビニールエプロンの作成》

・令和2年9月22日に浦添市社会福祉センターにて「沖縄県青少年赤十字高校協議会総会」の開催と、医療従事者向けの感染防止用使い捨てエプロンの作成を行いました。また、各学校でも作成したいとの声があり、約300枚のエプロン作成に取り組んでもらっています。完成後は、支部にて贈呈式を行いました。



➤事業実施に関するコロナ対策(1)

日本赤十字社では、コロナ禍においても事業を継続して運営していくために、感染予防対策の実施、運用方法の見直しに取り組んでいます。

文書審議

例年、対面形式での会議を実施している以下の会議について、文書による審議を実施しました。

・評議員会

対象: 第87回評議員会(令和2年6月)、第88回評議員会(令和3年2月)、第89回評議員会(令和3年2月)

・有功会役員会

対象: 令和3年度有功会役員会(令和3年10月)

密を避けた会議等の運営

会場の広さを十分に確保する、参加者の人数を制限する、開催時間を短縮するなどの感染対策を徹底したうえでの開催を実施しました。

・有功会役員会(令和2年7月15日開催)

・青少年赤十字大会(令和2年10月30日、令和3年11月1日開催)

・新規採用職員研修会(令和3年3月22日～26日の内4日間開催)

・赤十字奉仕団支部委員会(令和3年10月26日開催)

・救急法基礎講習

・防災教育プログラム



➤事業実施に関するコロナ対策(2)

オンラインを活用しての事業の実施

Web会議や動画などを活用し、非接触形式での会議や研修等を実施しました。

- ・地区区分担当者研修会(令和3年4月12日、令和3年4月14日開催)
- ・職員研修会
 - 中堅職員研修会(令和3年10月13日開催)
 - 課長職員研修会(令和3年12月10日開催)
- ・職員採用試験(令和2年度、令和3年度実施)
- ・会社説明会(令和3年7月7日開催)
- ・救急法基礎講習
- ・日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練(令和3年11月28日～29日開催)
- ・青少年赤十字関係会議等
 - JRC加盟登録式(令和3年4月～5月実施)
 - 東京都×沖縄県青少年赤十字高校協議会オンライン交流会(令和3年6月20日開催)
 - 沖縄県青少年赤十字オンライン交流会※トレーニング・センター代替行事(令和3年8月15日開催)
 - 九州ブロック青少年赤十字指導者養成講習会(令和3年8月18日開催)
 - 沖縄県青少年赤十字高校協議会総会(令和3年9月20日)
 - 九州ブロック青少年赤十字指導者協議会会長・担当者会議(令和3年11月18日開催)
 - その他
 - 青少年赤十字高校協議会
 - 青少年赤十字指導者協議会
 - 青年奉仕団の定例会



➤事業実施に関するコロナ対策(3)

オンライン講習の実施

新型コロナウイルス感染症の感染終息が見通せない状況にあることから、これまでの接触型での講習実施が難しく、令和2年度は、ほとんどの赤十字救急法講習会の実施を見合わせていました。

しかしながら令和3年3月より、オンラインでの講習実施の環境・設備等を整え、非接触型の講習を実施しています。



感染防止対策を行ったうえでのイベントの実施

・NHK海外たすけあい募金

例年12月に「NHK海外助け合い街頭募金」を県庁前県民広場などにて開催し、赤十字有功会役員及び会員、青少年赤十字メンバーなどが参加して募金への協力を呼びかけています。

令和2年、令和3年の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、声を出しての協力お願いを止め、事前に収録した寄付のお願いの音声データをスピーカーから流す方法がとられました。



ラジオを活用した赤十字事業の紹介

令和3年5月8日、ラジオ沖縄「てるてるソーレ」に当県赤十字職員が生出演し、県内赤十字施設やその事業を紹介しました。

これまでは、毎年5月に「赤十字ふれあいフェスティバル」と称し、赤十字事業を紹介するイベントを赤十字病院敷地内にて開催しておりましたが、今年はコロナ感染防止の観点から中止とし、ラジオを通じて県民の皆様へ赤十字事業を紹介する形となりました。



寄付の協力依頼について

感染防止の観点から各地区区分へ当県支部より振込手数料が免除となる振込用紙の送付、活用依頼の実施や、クレジットカードによる寄付の協力依頼を推進し、対人での接触を控えるよう努めました。

➤ 沖縄県支部内のコロナ対策

日本赤十字社沖縄県支部では、「新型コロナウイルス感染症対策会議」を週に1回開催し、感染拡大状況や各施設の状況を把握し、必要に応じて職員への情報提供、職場内の感染防止対策に努めている。

また、会議、イベント等の開催については、感染対策を徹底したうえで実施、開催方法の変更等を行っている。

要綱、マニュアル等の作成、整備

「新型コロナウイルス感染症対策会議設置要項」

- ・職員や家族及び関係者への感染拡大を防止するとともに、各施設や関係機関と相互に連絡調整を図り、総合的な対策を推進することを目的とした対策会議を設置することを記載。

「新型コロナウイルス感染症に対する対応マニュアル」

- ・コロナ禍における日本赤十字社沖縄県支部の業務運営体制や、会議等の取扱いについてを記載。

「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

- ・職員、職務室内で実施する感染予防対策や、職員が感染した際の対応について記載。

出勤者削減の実施

- ・緊急事態宣言発令を受け、職員の3分の1の自宅待機・在宅勤務を実施。

実施期間1： 令和2年4月21日（火）～ 令和2年5月14日（木）

実施期間2： 令和3年1月25日（月）～ 令和3年2月26日（金）

執務室内のコロナ対策

- ・手指消毒、マスク着用の徹底。
- ・健康管理記録の作成。（出勤時の体調管理、体温測定）
- ・会議室内に、飛沫感染防止用の衝立を設置。
- ・執務室内の換気の徹底。

